

異世界転生RTA殺害ルート【再走編】

にくキャベツ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

初投稿です。

なろう主人公を殺して異世界に出荷するRTAの再走です。

目次

異世界転生RTA殺害ルート【再走編】	1
トランプ だいたいとうりょう	3
これはRTAではない。繰り返す、これはRTAではない	5

異世界転生RTA殺害ルート【再走編】

「殺し損ねたなろう主人公を拾って殺して異世界に出荷してみんな大満足のRTA、はーじまーるよー」

「前回クソガバのRTAを恥も外見も知らずに投稿した恥知らずです
どうも」

「あのあと同じレギユで走った人は誰一人いないみたいなので安心です。嬉しいですね、私が王者」

「今回はチャートをちゃーんと書いて、しっかり検証も繰り返したので完璧です、やったぜ」

「さっさと殺そうぜー」という声が聞こえてきますが、それはいけません」

「何故ならば、このハーメルンとかいう投稿サイトは文字数が1,000を超えていないと投稿できない畜生サイトなのです、乱数調整も兼ねて適当にこのRTAについての解説をしながら文字数を稼ぎましょう」

「今回のレギユはみんな大好き【KILLING】。私のRTAなんかを見てくれているイかれた読者はどうせ前回も見ているので説明は不要でしょうが、一応説明しておきましょう」

「KILLINGは、なろう主人公をぶっ殺して異世界に出荷するモードです。トラックで轢き殺しても包丁で刺し殺しても構いません」

「今回のチャートでは前回使用しなかった通り魔を使用します。通り魔くんは車もない上にポリスマンに捕まる可能性もありますが、ステータスの割り振りが可能なのでポリスマンを殺害したり無関係な人間を殺害したりなろう主人公を殺害したりできる超人のキャラメイクが可能です」

「前は運転手の方を選択しましたがあれ走ってからよくよく考えたら通り魔の方が早いことに気付きました、反省」

「ちなみにこの開始前の解説で文字数を稼ぐことが短縮に繋がります、ハーメルンの仕様はしっかりと理解しようね」

「ということ、タイマースタート。通り魔くんの能力は全てフィジカル、頭のいい私がプレイヤーをしているのにキャラクターに知能などフヨウラ！」

「リーダーに表示されているなら主人公くんを探してダツシユします。途中でポリスメンに捕まりそうになっても問答無用でぶち殺して主人公くんを探しましょう」

『どけー』

『ななな、なんだ!?!』

「すごい厚みのない文章が表示されます、ちなみにこの時に地の文が表示されたらリセです」

「さっさと包丁刺して殺しましょう」

「はい、死にました。タイマーストップ。タイムは221文字。…なんと、300文字を切りました。かなりの進歩です。前回のタイムは399文字です、遅すぎイ！」

「さて、完走した感想ですが…」

「こんなラノベにまじになっちゃつてどうすんの」

「前回と比べてガバがかなり少ない…少くない?まるでRTAみたいだあ…」

「ちなみにステ振りスキップして短縮を図ろうとするとポリスメンに捕まって前代未聞のゲームオーバーになります(一敗)」

「安定性を求めるならやっぱり運転手が一番ですね…ですけどタイムなら通り魔くんが一番早いと思います」

「今回の動画はここまでです。ありがとうございました」

トランプ だいとうりょう

「大統領がミサイルをぶち飛ばしていくRTAはーじまーるよー」

「どうも、ゆっくりだいとうりょうです。今回は更新されてしまったので更新し返してやる回です」

「今回も説明で文字数を稼ぎます。1000文字以上制限ヤメロオ！」

「ということでは今回のレギュはいつもと同じ【KILLING】。そして今回選択するキャラクターは随一のチートキャラこと……」

「アメリカ大統領です。そう、今回はこちらのアメリカ大統領を使ったいこうと思います。やろう、ぶっ殺してやるぜ」

「こちらのアメリカ大統領さんですが、完全に他キャラと別ゲーです。SLGとかそんなんです、頭おかしい。でもって、随一のチート能力は『核ミサイル』です。……もうわかりますね、このミサイルでなろう主人公くんを殺してしまうんですよ」

「ちなみにステ振りにはフヨウラ！ ミサイルボタンを押せばいいだけですからね。装備アイテムは核ミサイルの発射ボタンのみ、逆にそれ以外は必要ない」

「殺害方法は皆様の予想通り、核ミサイルをぶち飛ばして街を焼き払い、その巻き添えでなろう主人公くんを殺します。あまりにも犠牲が多すぎる。もちろん大統領なのでポリスメンにも捕まらない、やつぱり大統領最高や」

「名前は入力速度を考慮せず『げい』です。誰がなんと言おうがげいです。ほもではないしれずでもありません」

「ということではさつさと殺そうぜー」

「いきますよ……一瞬ですからね……」

「タイムースタート。さつそくボタンを取り出して鍵を開けて、ボタンをポチっ！ w」

『ミサイルが放たれ、それが街を焼き尽くす』

『それに巻き込まれて……なろう主人公は死んだ』

『20XX なるう主人公は核の炎に包まれた』

「はい、死にました。タイムストップ。タイムは113文字…堂々の200文字を切りました。見事に世界記録奪還です…」

「完走した感想ですが…」

「やっぱり使いたくなかったけど大統領ほんとチートですね、これが一番早いと思います。やっぱり大統領チャートを…最高やな！」

「大統領さえいればなるう主人公も怖くない。なぜなら私はアメリカ大統領だからだ。国家に勝てるわけないだろ！いい加減にしろ！」

「これを超えるにはラピピユタ王とかしかいないんちゃう？まあラピピユタ王も厳しいやろうけどなぶへへ」

「みんなも書いて、みんなで更新しよう。更新して、僕を超えようむ
「まあ大統領チャートを超えられるやつなんておらんやろうけどな、
もうこれ殿堂入りでええんちゃう？」

「今回はここまでです。ありがとうございました」

これはRTAではない。繰り返す、これはRTAではない

「これはRTAではない!! 繰り返す、これはRTAではない!! なTAS、はーじまーるよー」

「ということで今回は志向を変えてRTAではなくTASを走るよ、バカかな?」

「TASなのでRTAと比べて明らかに早いよ、頭おかしいね。レギユは【KILLING】、いつものだよ。以上」

「ちなみに今のRTAの最高記録が109文字です。TASに比べればザコすぎて欠伸が出ますね。人間ではツールに勝てないということを教え込んで調教してやりましょう」

「いつも通り現代日本が舞台。職業はトラックの運転手、やっぱり運ちゃんは最高やで。なろう主人公を殺すスペシャリストですわほんま……アメリカ大統領も主婦も必要ねえんだよ! 運ちゃんだけでええんじや。轢き殺してやる」

「乗機はいすゞのトラック。安心と信頼のいすゞのトラックです。は? 通り魔で更新したばっかだろって? お前はバカか。TASなんだからRTAとは勝手が違うんだ。今回使うテクニクはトラックの運ちゃんしかやれないようなすっげえ技でございます、TAS特有の謎テクニク。何度でもやり直して、1フレームごとに操作を変える。こんなことはRTAはできません、ツールの力は恐ろしい、やっぱりTASさんって神だわ」

「ということで世界記録を打ち立てます。一瞬ですからね……?」
「タイムスタート。まずトラックで突っ込んで壁にめり込み裏世界へGO、スーツと移動しながら位置をなろう主人公の座標に書き換え殺す」

「はい、死にました。タイムは《73文字》。まさかの2桁
「完走した感想ですが……」

「……TASってやっぱりおかしいですね。先ほど使ったテクニク

は裏世界、つまりトラックでポリゴンの裏側に突っ込んでめり込み、高速移動する技です。悪魔城風に言うところのホアイ。そして座標書き換えは裏世界に存在するデバッグルームにアクセスしたことにより行ったデータ改ざんです。この技によってなろう主人公の座標をトラックと置き換え、裏世界の死亡判定を使い殺害します。ちなみに裏世界の死亡判定は問答無用で即死なので、チート能力者だろうが本物の神様だろうがぶち殺してやることができます、最高です、神です、超優秀です。RTAでも出来ないか試してみましたが無理でした、やっぱりRTA専用テクですよこれ！」

「たぶんこれが一番早いと思います。まあ一生抜かれることはないでしょうな、これを抜けるとかそれももう圧縮文章でしょそれ。人の読む言語じゃないでしょ」

「今回はここまでです。次の料理も……がんばります」